

## 第4章 市民との連携

多摩市の環境づくりを進めていく上で、“市民、事業者、行政の協働”(“みんなの協力”)が最も重要です。そのためには、市民(子どもを含む)、事業者、行政がそれぞれの役割を認識し実践するとともに、相互のパートナーシップを築いていくことが欠かせません。多摩市では、協働して環境保全に取り組むため、「人づくり」のための各種の講座、環境保全の様々な催し、学校教育の中での「環境教育」等に積極的に取り組んでいます。そうしたなかで、協働して環境保全に取り組む市民の輪は急速に広がりつつあります。

なお、平成18年4月より聖蹟桜ヶ丘ヴィータに「多摩市民活動情報センター」を開設しました。市民活動情報センターは、多様な市民活動の情報収集・発信基地で、団体の打合せや市民活動に関する相談などに使える打合せコーナー、団体活動情報を宣伝できる展示コーナーのほか、インターネット端末を備え、各種情報の収集やAV機器をご利用できます。また、多摩市市民活動情報検索サイトに登録することにより団体の活動内容等の情報を発信できます。現在33団体(H19.4現在)の登録があり、植物の写生や植物観察をしている団体を含め市民の環境関連団体は6団体あります。以下の団体は登録団体ではありませんが、多くの市民にも働きかけながら、市とも協働してごみ問題や環境問題に熱心に取り組んでいる団体です。

### (1) パートナーシップに向けて

#### 「たまごみ会議」(平成12年7月)発足

市では、市民、事業者、行政が一体となっごみ減量に取り組むための意見交換の場として「たまごみ会議」があります。このたまごみ会議は、「資源化部会」、「啓発部会」を中心に、ともに話し合い、考え、行動していくボランティアの仲間として、施設見学会の開催、ノーレジ袋実態調査、堆肥化講習会、多摩市の取組へ積極的な参画、ごみに関する学習会・講習会の開催やイベント等の企画・参加、或いは各種のチラシやパンフレットの発行などを行っています。また、体験、学習、調査をしながら気づいたこと、疑問に思ったことを具体的な行動に移し様々な活動を行っています。

#### 「多摩市民環境会議」(平成13年5月)発足

市民が身近な環境問題について事業者や行政と協働して、環境問題への取組みを考え、学習しながら実践していく市民団体です。月2回の全体会や運営会議を基本に、みずとみどりの部会、環境美化・資源化部会、地球環境部会、e-café たまの4部会があり、それぞれの活動を行う他、環境学習講座運営、多摩市環境マップ作成、エコライフ普及啓発活動その他4つのプロジェクト事業があり様々な活動を行っています。

#### 「グリーンボランティア」(平成13年2月)発足

みどりの保全、育成、創出を進める上でのパートナーシップ体制確立の具体的な仕組み作りとして、みどりに関する市民活動を積極的に推進し、公園、緑地等を自発的に維持管理して頂く市民ボランティアの育成を目指し、実際にボランティア活動を行っている市民の方々と協働してグリーンボランティア講座を開催しています。講座の内容は、主に雑木林や竹林の手入れについて「見る」、「聞く」、「やってみる」をキーワードに実習を主体とし、修了後は地域の中でさらに活動の輪を広げていただけることを期待しています。

平成18年度は第5期終了後18名がボランティアへ登録し、前回の終了生と共に多摩中央公園や一本杉公園で自主的な活動を行なっています。なお、現在までのボランティア登録は117名です。

#### 「大栗川を楽しむ会」(平成14年5月)発足

平成18年度は自然観察会を兼ねた清掃活動(ごみ拾い)を5回実施しました。また、全国一斉の水質調査へ参加し大栗川、乞田川、多摩川の水質調査を行いました。7月には、子どもを中心に大栗川で筏くだりなどの川遊びを行いました。

## (2) 人づくりに向けて

### 環境教育の充実

環境を大切に作る「心」を育てるためには、子どもの頃から自然や生き物とのふれあいを大切にし、環境とコミュニケーションする心を育てていくことが重要であり、学校は子どもたちが環境について学ぶ重要な場です。

ほとんどの小中学校で社会科、理科、家庭科、生活科などの教科学習、あるいは、総合的な学習の時間、道徳や特別活動を通じて環境教育を実施しています。

各学校が環境教育で取り上げる内容は、水、土、空気、騒音、ごみ、リサイクル、草花栽培など様々です。また、学習活動も観察、調査、見学、ボランティア活動、関係機関の方のお話やインタビューなど様々な工夫が行われています。

管理指標	項目	16年度	17年度	18年度
環境教育取り組み校数の割合	清掃活動	28/31	31/31	30/31
	調査研究活動	31/31	31/31	31/31
	リサイクル活動	30/31	31/31	31/31
	栽培活動	30/31	31/31	29/31
	その他活動 自然観察・自然保護活動	0/31	25/31	30/31

平成17年度から「その他活動」を「自然観察・自然保護活動」に項目を変更

参考；多摩市身のまわりの環境地図作品展の出展状況

		16年度	17年度	18年度
出展校	小学校	7校	9校	7校
	作品数	10点	21点	103点
	中学校	7校	6校	5校
	作品数	317点	256点	209点
出展校名	小学校	・多摩第一小学校・連光寺小学校 ・北豊ヶ丘小学校・南貝取小学校 ・南鶴牧小学校・北貝取小学校 ・東落合小学校		
	中学校	・東愛宕中学校・和田中学校 ・貝取中学校・鶴牧中学校 ・多摩大学付属聖ヶ丘中学校		

## 環境学習の拡充

子どもから大人まで生涯を通じて環境にやさしい行動をする人を育てるため、地域ぐるみで環境について学び、実際に体験するための場や機会を提供していきます。

市内では、コミュニティセンターや消費生活センター、公民館などで、環境学習会やリサイクル展が市民グループなどの主催によって開催されています。また、市主催による清掃施設等見学会、環境学習会、自然観察会や景観ウォッチング、雑木林の諸作業体験、農業体験等の体験学習等多彩な取組が行われています。

歴史・文化の保全・継承に関する取組についても同様な取組を進めています。こうした取組への参加者は増加傾向にあります。

参考：学習講座等の実施状況

項目		16年度	17年度	18年度	
環境学習	学習講座・講演会等	実施数	61事業	78事業	88事業
		参加者数	2,490人	2,834人	3,188人
	展示会等	実施数	35事業	14事業	19事業
		確認入場者数	80,430人	94,052人	75,615人
東京都環境学習リーダー数		****	****	****	
生涯学習市民バンク登録数（環境関連）		6人	6人	6人	
歴史・文化	学習講座・講演会等	実施数	28事業	23事業	15事業
		参加者数	1,307人	1,224人	2,220人
	展示会等	実施数	10事業	10事業	7事業
		確認入場者数	79,305人	79,570人	72,669人

東京都環境学習リーダー講習会事業は平成15年度で終了となった。

### (3) 市民参加体制の確立

行政への市民参加ということが様々な場で言われていますが、多摩市においても、市民からメンバーを募り、各種の審議会、委員会、ワークショップなどが開設され、行政への市民参加が行われています。

エコガイドブックやごみ減量行動計画の作成は、市民団体との協力で行われました。

## ( 4 ) 環境情報の収集・公開体制の確立

### 環境情報の収集・公開体制の確立

多摩市では、大気汚染や水質汚濁、騒音振動・交通量、水生生物などについて調査を行い報告書を作成しています。これらの報告書は、環境部の窓口や図書館本館で閲覧可能です。

また、以下の情報は、多摩市公式ホームページ (<http://www.city.tama.tokyo.jp/>) に掲載されています。

環境調査結果 (大気汚染、騒音・振動、河川水質等の調査結果)

環境手引書「多摩市エコガイドブック」

多摩市環境基本計画 全文

平成 16・17・18 年度 多摩市環境審議会議事録

多摩市みどりの基本計画 (概要版)

多摩市ごみ減量協働プラン

ごみ量とごみ処理に係る経費

今後のごみ減量・資源化に向けた取り組み案

より良い環境を創っていくためには、環境に関する様々な情報が、あらゆる人に的確に伝わることが重要です。そのため、今後は、多摩市公式ホームページを、より一層活用するとともに、様々な場所や方法等を用いて、より広く、よりたくさんの方の環境に関する情報を提供していきます。

#### 各報告書関係

平成 15 年度 多摩市貴重な動植物調査報告書

平成 15 年度 水浸透能力・地下水脈調査業務委託報告書

平成 18 年度 大気環境等調査業務委託報告書

平成 18 年度 交通量等調査業務委託報告書

平成 18 年度 河川等調査業務委託報告書